

【九州・沖縄地銀連携協定】

Q-BASSの活動についてのご紹介



(愛称) Q-BASS 読み方：キューベース

Kyusyu-Okinawa-Banking Alliance Semiconductor Solutions

2024年10月4日

九州・沖縄地銀連携協定_概要・運営体制

- 2024.1月、九州・沖縄の第1地銀11行で「新生シリコンアイランド九州」の実現に向けて連携協定を締結（24.5月、山口・北九州が加入し13行体制へ）
- 13行は普段はライバル行であるが、**まずは九州・沖縄の「経済全体のパイを大きくする」ことを目指し**、九州・沖縄経済の持続的な成長に貢献。**結果として、各行のビジネス拡大に繋げていく方針**

協定の概要

連携行 (13行)

(幹事行)

福岡銀行/肥後銀行/西日本シティ銀行

(参加行)

大分銀行/沖縄銀行/鹿児島銀行/北九州銀行/佐賀銀行
十八親和銀行/筑邦銀行/宮崎銀行/琉球銀行/山口銀行

2024年1月16日締結

目的

「新生シリコンアイランド九州」の実現に向けて、九州・沖縄の各地銀が連携し、シナジー効果を発揮することで、**半導体関連産業集積の促進**や、**半導体を起点とする他産業および社会インフラの強化**を図り、**九州・沖縄経済の更なる成長を目指す**

連携内容

1. サプライチェーンの強靱化に向けた取組み
2. サステナビリティの推進
3. 九州・沖縄の活性化
4. 九州・沖縄での業界調査および分析

2024.1.16、地方銀行会館（@東京）での記者会見の様子。11行頭取が出席



運営体制

事務局会議

■ 幹事行：福岡、肥後、NCB

- 情報共有や共同プロジェクト組成の検討を行い、全体方針の策定と意思決定を行う
- 事務局会議で具体化したプロジェクトは分科会として立ち上げ



分科会立ち上げ（現時点では3分科会のみ。今後増えていく予定）

ファイナンスPJ

■ リーダー行：NCB、副リーダー：福岡

- 単独行では対応が難しい大型案件を、連携行でシ団を組成し、融資実行することを目的として立ち上げ
- 融資目利き力向上のため、13行審査セクション共同勉強会の開催なども企画

サプライチェーン 強靱化PJ

■ リーダー行：福岡、副リーダー：肥後

- 13行共同商談会を開催予定。九経調やSIIQと連携し、実効性のある商談会を検討
- サプライチェーンポジション別に事業者の課題・ニーズを整理し、共同でソリューションメニューの検討も行っていく

サステナ推進PJ

■ リーダー行：肥後、副リーダー：福岡

- 各行や所有するサステナビリティ分野の商品やサービスなどの相互利用促進を検討
- サステナビリティ推進機運の醸成のため、13行行員向け共同勉強会の開催や、13行取引先向け共同セミナーの開催などを計画